

出場に当たっての注意事項（重要）

- ①シューズの靴底の厚さの規定があります。十分ご注意ください。
 - ・競技用シューズは、靴底の最大厚さ 20mm スパイクシューズ、またはノン・スパイクシューズとする。ただし、競技場内で行う競歩競技の靴底の厚さは、道路競技と同じ 40mm とする。
 - ・日本陸連 HP (JAAF) の「WA 承認シューズリスト」を参考に各顧問の先生は選手への出場可能シューズの周知・注意をお願いします。尚、リストに載っていないシューズはメーカーHP に可・不可が掲載されている場合もあります。リストに掲載されていない、又は測定希望の選手は、招集所で測定してもらうことも可能です。
 - ・最終コールの際に競技役員が目視でチェックを行い、場合によってはその場で測定します。規定外の厚さで出場した場合は失格になりますのでご注意ください。
- ②事前にスタートリストを確認しサイドビブスの準備をしてください。その際、数字は大きく大きく濃く書くようにお願いします。文字が小さい、細い、薄い場合、写真判定装置で読み取れない場合があります。**また、4×100mR は第4走者、4×400mR は第2～4走者がつけることになっています。**
 - ※サイドビブスは右腰のみの着用でもかまいません。都大会以上の大会では左右の腰への着用が必須です。
- ③長距離種目（3000m 以上）は事前にスタートリストを確認し、オーダーナンバー（レーン番号）のアスリートビブス（胸・背）の準備をお願いします。サイドビブスも同様にオーダーナンバーになります。
- ④リレー種目では、同一のユニフォームを原則としますが、デザイン、配色が同一であれば、選手によりユニフォームのタイプの組み合わせが異なっても良い。
- ⑤**ウォーミングアップは競技場内のプロムナード（回廊）とバックストレートで行ってください。中央広場ではドリルや流し、メディシンボールを用いた投てき練習などを行わないでください。**なお、バックストレートは競技が行われていないときのみ使用できますが、審判の指示に従うこと。
- ⑥**バックストレートでのウォーミングアップでは、レーンの途中で止まったり、横切ったりせず、端まで行って周囲を確認してからレーンの外へ出ること。**
- ⑦フィニッシュラインの横は立入禁止区域とする。また、審判員室や役員室前の通路を通行しないこと。
- ⑧ゴミは必ず各校で持ち帰ること。また、帰宅途中にあるごみ箱に捨てていかないこと。
- ⑨スタンドを含む建物内は、すべてスパイクでの歩行は禁止です。

- ⑩メインスタンド下の更衣室は、更衣室 2 を男子更衣室、更衣室 3 を女子更衣室として使用可能です。
- ⑪届けられた落とし物は、大会最終日に全て処分します。
- ⑫大会運営上、確認したいことがある場合は「生徒→各顧問→大会本部（総務）」という形をお願いします。

